

LC-9201 型, LC-9204 型 サンプルインジェクター分解方法

サンプルインジェクタから溶媒が漏れてきたり、試料などが詰まり圧力が上がった場合、品番996-015 バリアブルインジェクタ用ロクシールの交換 や 品番996-016 バリアブルインジェクタ用ステータフェイスアセンブリの交換、洗浄が必要です。LC-9201 型, LC-9204 型のサンプルインジェクタ 7725i の取り外し、分解方法について説明いたします。

装置側面のパネルを写真のように外すとサンプルインジェクタが見えます。



次にサンプルインジェクタに接続されている配管を外します。コネクタには番号が刻印してあります。その番号とインジェクション側にある番号が同じ番号に接続されています。



サンプルループのコネクタには決まった方向はありません。

LC-9201, 9204型 正面サイフォンボックス内のインジェクタハンドルを7725iの付属品についている六角レンチを使用し、(インチネジのため)を使い取り外します。



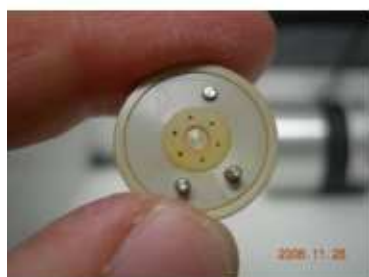
プラスネジを2箇所外しインジェクターを装置から取り外します。



3本の六角ネジを7725iの付属品についている六角レンチで外し、写真のように品番996-016 バリアブルインジェクタ用ステータフェイスアセンブリが現れます。



写真のようにサンプルで穴が詰まっているようなら細い針金で穴を通し、ダメなら新しいものと交換してください。



インジェクション口から溶媒や試料が漏れてくる時は写真のローターシールの劣化が考えられます。新しいものと交換してください



品番996-015 バリアブルインジェクタ用ローターシール や 品番996-016 バリアブルインジェクタ用ステータフェイスアセンブリの交換, 洗浄が終わったら, インジェクタを組み立てます。それぞれの部品は入るところにしか入りませんので組み間違えと言った事はありません。組みあがったところで装置にネジ止めし, 裏の配管を接続します。



サンプルインジェクタに接続されている配管コネクタには番号が刻印してあります。その番号とインジェクション側にある番号が同じ番号に接続されます。



インジェクタのハンドルを取り付けて完成です。



サンプルインジェクタ 7725i 用バリエブルインジェクタ用ロータソールの交換 や バリエブルインジェクタ用ステータフェイスアセンブリの交換, 洗浄を行っても不具合が解消されない場合には弊社までご連絡ください。